



2団だより (5月の活動トピックス)

発行責任者：団委員長 池澤 榮次郎

団本部：鶴林寺 宝生院内 (団HP bs.kakogawa2@yahoo.co.jp)

— 指導者の皆様 スカウトのためによろしく — 団委員長 池澤 榮次郎

私が指導者として活動していた頃の「指導者手帳」に、「スカウティングは社会人生を育てる」とあり、生き甲斐のある生涯をおくるためには学識よりも人格（人がら）の形成の方が大切で、人格が人の生涯を形づくと記されています。 人格の形成が人の生涯を左右するものであるならば、その人がより良い人生を送れるように、その人が社会人となる前にまだ少年で物事を受け入れやすいうちに養い育てられるのが良く、ボーイスカウトの訓練の目指すもっとも重要な目的となっています。

スカウト教育は少年たちに指図して教えることではなく、少年たちが自ら進んで活動しよう、学ぼうとするように引っぱってやるのが、指導者の役目とされています。

とても難しいことではありますが、指導者の皆様には、スカウトのためにこれからもより良い活動を、よろしくをお願いします。



6月 鶴林寺公園での団 大運動会

— 各隊5月の活動・トピックス —

○ ビーバースカウト (BVS) 隊

「ビーバーは楽しく活動中」 BVS隊長 中住 直哉

5月5日は立夏です。夏のような暑い日もありますが、まだまだ朝夕は肌寒く感じます。そのような中ですが、スカウトたちはすでに夏の服装になり、汗をかいて走り回っています

5月6日は遅ればせながら、こいのぼりづくりを行いました。発泡スチロールと布きれをリサイクルして、一人一作品を作りました。同じ材料を使っても、個性的な作品が出来上がるのが不思議です。



5月20日はボーイスカウトはりま地区活動振興大会が行われました。こいのぼり 一ちょあがり！年に1回の大会ですが、はりま地区全域から、大勢のスカウトが集まってきます。午前の式典の後、

お楽しみのお弁当を食べ、午後はビーバー、カブ、ボーイの各年代に分かれ、それぞれに企画されたプログラムを楽しみました。

今年の振興大会は小野市で行われたため、スカウトたちは朝早くから加古川駅に集合しました。加古川線から神戸電鉄に乗り継ぎ、小野駅から徒歩で会場に向かいます。限られた時間での乗り継ぎは不安もあったのですが、スカウトたちが行儀よくテキパキと動いてくれたこともあり、思った以上にスムーズに移動することができました。

スカウトのみなさん、暑い中お疲れ様でした。



地区活動振興大会へのハイク・・・ええ天気！

○ カブスカウト (CS) 隊

「CSは大活躍」 CS隊長 田上 利 広

5月13日の活動は、母の日のプレゼントを作りました。材料への色塗りや飾りつけを行い、みんなそれぞれの感謝の気持ちをメッセージカードに記入してBOXの中に忍ばせ渡すようにしました。

お母さん喜んでくれたかな??

5月20日は小野市の総合運動公園ではりま地区活動振興大会があり参加してきました。午後からのカブ隊



プログラム

では昨年に 母の日プレゼント作り 喜んでくれるかな・・・続き、1位・2位を2団の1組と2組が独占し、またもや景品を独り占めしてしまいました。

スカウトたちは、団の紹介エールや挨拶をはじめ、キビキビとした行動ができ、日頃の活動の成果が表れていると大変誇らしく思いました。

これからも楽しくも規律あるスカウトを目指し頑張っていきましょう！”



地区振興大会 今年も頑張りました！

○ ボーイスカウト (BS) 隊

「ジャンボリーにそなえて」 BS隊長 中田 直 文

5月28日、ボーイ隊は隊集会及び基本訓練を行いました。今夏に開催される日本連盟主催のスカウトジャンボリーを意識して、野営の重要なスキルとなる「ロープワーク」や「火おこし」を体験する活動となりました。竹や丸太を十字に縛る「角縛り」は、ロープの巻き方は理解しているものの、力の入れ方や要所の仕舞いが甘く、実際に加重を架けてみるとずれてしまいました。実用レベルには、もう少し経験が必要です。次に、火おこしのための薪割り。ナタ*の使用は、苦手意識や恐怖心があっては上手く割れません。スカウトは繰り返し体験



薪割り・・・慎重かつ大胆に？

することで次第に慣れ、リズムよく薪を割れるようになりました。油断は禁物。皮手袋など保護具の着用や周囲の確認の徹底など、あわせて安全対策も学びました。(※刃物を使えるのは2級以上のスカウト)

最後に、ジャンボリーなどで行われる火おこしゲームを班対抗で行いました。水平に張った麻縄の下で焚き火をして焼ききるといのですが、両班とも一時的に火はつくものの、炎の高さを伸ばす事ができず、残念ながら時間切れとなりました。

薪組や火種づくりが今後の課題です。各種目を通じて、各班員の帰属意識が形成されつつあるものの、まだまだチームワークを全力で発揮できるまでには至っていません。「One for All, All for One」を常に意識して活動できるよう進めていきたいと思えます。



ロープワーク「井げた組」でゲーム

○ ベンチャースカウト (VS) 隊

「クライミング訓練」 VS隊長 幹 敬盛

5月20日(日)にVS隊ではクライミング訓練を行いました。標高300mの高御位山頂という絶好のロケーションでの実施計画でしたが、当日降雨の為あえなく姫路駅前のクライミングジムにて室内訓練と相成りました。クライミング初体験の隊員2名を含め6名の隊員が参加し、ロープを使用しない低壁での「ボルダリング」と15m程のウォールでの「ロープクライミング」を行いました。高3組は1年次での体験で覚醒し、普段から加古川市内のボルダリングジムに通うほどで、高1組も高校でクライミング



部に入部し「雨の日はここで部活してます」とのたまう猛者がいるほどでした。初体験の2名はこわごわしながらウォールに挑戦しましたが、ロープクライミングでロープ係の保持が間に合わない程のスピードで駆け上る(?)強者もおりました。

クライミング競技は2020年の東京オリンピックに参考競技として採用され、俄かに注目を浴びていますが、本来は高所へ挑む精神と安全確保の技術を学ぶものであろうと思えます。その意味でも厳しい環境である高御位山頂への挑戦を再び行いたいと思えます。

ボーイスカウト活動に関心のある方・入隊を希望される方は、[団HP](#)（「ボーイスカウト加古川第2団」(検索)）のメールでアクセス頂くか [団本部 鶴林寺宝生院 電話 079-422-6064](#) へお問い合わせ下さい。見学・体験入隊はいつでも可能です。

ボーイスカウト加古川第2団では、君の入隊をまっています。